

〒192-00043 東京都中央区3-18-17 マルキ5F Email:kyodotable@gmail.com
連絡先 藤田高景090-8808-5000 石河康国090-6044-5729
YouTube配信 <https://youtube.com/live/lbhDHD2lHg?feature=share>

「あたらしい戦前にさせない」連続シンポ 第9回シンポ

4月1日14～17時、衆議院第1議員会館で200人が参加して開催された。要旨を報告します。
詳細は「共同テーブル」HPに動画でアップされていますので、ご覧ください。なお、文責は事務局

「金権」から「民権」へ—「政治改革」を問う 開催



司会 杉浦ひとみ（共同テーブル発起人・弁護士）

主催者挨拶 佐高信・共同テーブル発起人

かつて河野一郎が国会議員になり、国鉄グリーン券を貰った。「乗っていいのか？」と謙虚に思ったと言う。今ではそれがあたり前になり横暴になる。謙虚な人物を見習う自民党議員はいない。裏金問題は「自民党議員金権事件」であり、「特権と人権」との闘いでもある。

参加国会議員連帯挨拶

小西洋之・立憲民主党参院議員

自民党裏金議員は虚偽をつづけている。裏金事件の裏で戦闘機の生産と輸出を閣議決定する。裏金を止める法改正が必要だ。自民党政治が失われた30年を作った。それが派閥政治、金権政治、世襲政治です。

宮本徹・日本共産党衆院議員

国民を裏切る議員は選挙でゆるさない。30年前にも黒い金事件があり問題となったが、パーティー券は逃れてしまった。財界から自民党に巨額な金が入っている。国民を食べ物にする自民党を倒すことは民主主義を守るたたかいです。



杉浦ひとみ弁護士



佐高信さん



小西博之議員



宮本徹議員

講演「政治改革を問う」 上脇博之（神戸学院大学）要旨 オンライン参加

「しんぶん赤旗」のスクープから始まり私は告発に踏み切った。朝日新聞の裏金報道で拍車がかかった。東京地検特捜部の処分は、清話会、志帥会の会計責任者と清話会池田議員が在宅起訴、宏池会会計責任者と谷川議員、二階議員の秘書などが略式起訴された。政治資金パーティは裏金がつくりやすく、企業献金の有無と献金額が確認できない。

法律の不備による裏金は他にもある。政党のおこなう「公職候補者への寄付」、収支報告制度のない「調査研究広報滞在費」（旧・文書通信交通滞在費）、内閣官房報償費（機密費）だ。

自民党の裏金作りの背景として、議会制民主主義が実現していないので暴走可能となったこと。自民党の党员数が1991年の547万人から73万人へと減少した焦り。さらに新自由主義の強行と福祉国家政策を否定し戦争のできる国にしようとしている。そのための政治資金はバブル状態だ。さらに公選法の適用のない自民党総裁選挙は買収し放題。

抜本的な政治改革が必要だ。まずは政治資金パーティの禁止など裏金つくりができない政治改革。そして1994年「政治改革」はやり直しさせる。それは、①先送りされて実現しなかった「企業その他への団体の政治資金献金」の禁止。②政党助成金（政党交付金）廃止、③小選挙区制を廃止し無所属の立候補もできる完全比例代表制（都道府県・政令指定都市の地方議会も）にすることだ。



上脇博之教授

講演「黒い金の実相」 平野貞夫（元参議院議員）

今年は自由民権運動150年だが議会制民主主義は育っていない。佐高さん、前川さんと高知県に行き、板垣退助に学び新しい民権運動をおこそうと話した。「金権から民権へ」の提言もあった。政治に長く関わってきたが、60年安保議会から政治は大きく変わった。河野一郎は政治と金の諸問題は「自民党の病」と言ったが、「政治と金」ではいふろんなことがやられてきた。30年前に宮沢総理は金権問題を考え、細川政権で小選挙区制+比例選挙制とともに政党助成金・政治資金が生まれた。しかし今や哲学を持つ自民党議員はいなくなった。小選挙区制導入の時はこぞって小選挙区制をまなぼうといってイギリスにでかけたが、日本独自の政治の条件を学ぶ必要があったと反省している。



平野貞夫元参院議員

シンポジウム「金権から民権へ」

コーディネーター：佐高信

パネリスト：福島みずほ（参議院議員・社会民主党党首）

岡崎宏美（元衆議院議員・新社会党委員長）

平野貞夫

上脇博之（オンライン）



◆ **福島** 今回あぶり出されたのは誰のために政治をやっているのかということ。私腹を肥やすため大企業のためにやっている。裏金処分は甘い。企業団体献金や政治資金パーティを禁止すること。自民党は過去23年間で555億円の企業団体献金を受け取っている。政党助成金やパーティ券収入も得ている。次期戦闘機の生産と輸出を閣議決定した岸田首相は日米同盟を公共財だといった。防衛省や外務省も後援して幕張メッセで防衛装備品見本市を開催。効率的にいかにか人を殺せるかというのに公共性があるのか。赤字で、訪問介護事業倒産の危機にある。「秘密保護」で国民を縛り、戦争できる国にする。岸田政権は経済を悪く格差を広げる。自民党に投票しない。選挙に行けば政治は変わる。



◆ **岡崎** 80年代の悪政と金権スキャンダルで1989年には参院選で社会党が大勝利「山が動いた」(土井さん)といわれた。中選挙区制で一定民意を反映できた。しかし、その年選挙制度審議会で「政治と金」の問題が小選挙区制導入にすりかわりマスコミに世論工作され「政治改革」で「連合」も賛成し小選挙区制度が決まり、中選挙区制度を守る者は守旧派と言われた。「政治改革」のため高額な供託金制度を見直せという「誰でも立候補されたら困る」と否定された。湾岸戦争で「日本は金だけでなく、軍隊も出せ」となり、新自由主義が叫ばれ自民一党支配が続いた。多様性が排され投票率も下がった。「戦争は廊下の奥に立ってある」というが今は玄関で大きな顔をして立って戦争ができる国になっている。



◆ **佐高** 94年の政治改革はまさに今日の選挙制度を作った地獄のはじまりだ。当時小選挙区制の危険を訴える國弘正雄さん、三木睦子さん、私、田中康夫さんで小選挙区制反対を訴えた。自民党汚職は宿便だ。

◆ **上脇** 小選挙区制は福祉国家でなく新自由主義に行く自民党の決断だった。政治改革が選挙制度にすりかえられた。マスコミも加担した。福祉国家と平和国家は一体。軍事にカネを使ったら福祉国家にはなれない。自民党は94年の政治改革時、自衛隊を海外に出して軍事大国にする考えがあった。今回は問題をすり替えられてはならない。経団連は政党法も提言しているが危険だ。



◆ **平野** 自民党は哲学的、歴史的なことを考えていない。

今の自民党を潰さないと日本は危ない。自民党政治を残すために小選挙区を作った。

◆ **福島** 小選挙区制度は、社会党つぶしだったと思う。二大政党制がいいとは思わない。

◆ **岡崎** 自民党だけが生き残り、その他の政党は生き残るために第2自民党化の道しかなかった。

◆ **上脇** 世間では自民党の党内処分が出て、終了とみているが、私は、今後とも調査をつづけ、告発書を書きつけていく

◆ **佐高** テレビに出ていたころ、政治家にモラルを求めるのはゴキブリにモラルを求めるようなものだと話したことがある。おふくろから「他にいいようはなかったのかい」と言われたが、自民党というゴキブリにモラルを求めるといふより駆除しなければいけない。



第9回シンポ参加者アンケートから

上脇博之氏の地道な告発に大いなる敬意を表します。パネリストに参加された方々の言われる、この日本国内の空気を大きな政治改革に向かわせるべく力を結集していくには、どうしたものかとも思う。

上脇先生の誠実かつ粘り強い活動にただ感謝、感銘します。ゴキブリ自民党は駆除するしかない！

議論が深まるのが16時45分からというのがちょっと残念でした。登壇者が（素晴らしい方ばかりですが）多過ぎたのかな？
三浦真人

新しい「自由民権運動」を起しましょう！ 国会が形骸化してきたことにより、国民のあきらめ感が高まり、投票に行く人も減っています。国会を国民に取り戻すためにどうすべきか。投票率を高め、政権を変えることしかありませんが、国民に広く分かっていたいただくことが大事ですね。 福田和男

収支報告書の透明化は重大な問題だとは思いますが、本丸の九条改憲やセキュリティクリアランス、沖縄だけでなく日本列島全体を砲台や不沈空母化する為の緊急事態条項の方がもっと重要なので、政治と金の問題に気を取られ過ぎないようにしてください。

いろいろな意見、1994年の政治改革についてお聞きできて勉強になりました。有難うございました。市民の声を皆で挙げて今の政治を良くさせましょう。

共同テーブル「新しい戦前にさせない」連続シンポジウム 5・23第10回シンポ

経済の監視統制と軍事費大増強の危険な本質を暴く！ アメリカの中国排除に加担する「経済版秘密保護法（「甘利明・高市早苗」法案）」は許されない！

- 日時 5月23日(木) 開会・午後6時30分（入場開始は午後6時）
- 会場 文京区民センター・3A会議室
- 資料代 1000円

講談 甲斐淳二（民衆の抵抗史を語り継ぐ社会人講師）

演目「房総・花物語―戦時下で花を守った母と子」

シンポジウム

パネリスト 望月衣塑子（ジャーナリスト）「武器輸出と軍需産業」

青木 理（ジャーナリスト）「経済安保と公安警察」

海渡雄一（弁護士）「経済安保法の狙うもの」